

Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木西丁目8番7号れんが橋1F
TEL:(052)678-5310 FAX:(052)678-5330
http://clanago.com

プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310



ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテージュビル305
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com



豪州バレエ最高峰の近藤亜香が登場



「アノワ賞最優秀女性ダンサー」に選出された「アリス」の近藤亜香

サンフランシスコの石原古都も

6月20日市民会館で金澤バレエ20周年記念公演

名古屋の金澤志保バレエスタジオで手ほどきを受け、2010年オーストラリア・バレエ団に入団。18年には「不思議の国のアリス」に主演し、バレエ界の最高賞「アノワ賞最優秀女性ダンサー」にノミネートされた近藤亜香が帰国。6月20日(午後6時)市民会館フォレストホールで行われる「ドン・キホーテ(抜粋)」に主演する。

同公演は金澤バレエの20周年記念公演で、近藤のパートナーで、オーストラリア・バレエ団プリンシパルのチェンウ・グオ、近藤と同じく金澤バレエ出身でサンフランシスコ・バレエ団ソリストの石原古都が参加。国際レベルのステージを展開する。

昨年暮れに一時帰国した近藤は「幼いころから、ドンキのキトリや、バイアールのガムザッティといったエネルギー溢れる役が大好きでした。オーディションで初めて主役を任されたのも、初めてチェンウと踊ったのも、ドキドキと意気込み、今回ドンキでドルネシ



チェンウ・グオ 石原 古都

アを踊る石原は1歳年上。金澤バレエ時代から親友でありライバルでもありました。彼女がいたから現在の私がある。敬意を示す。師匠の金澤は「近藤さん、石原さんの名古屋での共演は私の夢でもありました。二人の活躍は、生徒たち

の大きな刺激になるので、2006-13年、熊川哲也が主宰する「Kバレエカンパニー」に移籍。ダンサー、教師として研さんを積み、川口バレエ復帰後はエースダンサー兼教師として活躍。昨年8月の定期公演では「ジゼル」第2幕のパドドゥを踊り絶賛された。

川口バレエが「ジゼル」の全幕を上演するのは初。記念公演でもあり、主役が背負う重圧は大きい。

中谷は「ジゼルは大好きな作品。Kバレエで最初に出演させてほしいという作品もジゼルでした。1幕の狂乱の場の演技、2幕の(死者としての)重力を感じさせないダンス。技術面、体力面とも課題は山積です」と自身を叱咤する。



「ジゼル」の中谷友香

19日(午後2時)愛知県芸術劇場大ホールで開催される川口節子バレエ団創立40周年記念特別公演

「ジゼル」でタイトルロールを踊る中谷友香に意気込みを聞いた。

中谷は1992年に

川口バレエ40周年記念公演 Kバレエで技磨いた中谷友香 待望の「ジゼル」タイトル! 5月19日 芸術劇場大ホール

感動再びー名古屋テアトロ管弦楽団/合唱団

6月16日 東海市芸術劇場で「アンドレア・シエニエ」

「アンドレア・シエニエ」は、数あるイタリオペラの中でもとりわけ

昨年の第1回公演「トゥーランドット」で、満席の聴衆を熱狂させた名古屋テアトロ管弦楽団/合唱団(以下テアトロ、上井隆志代表)が、6月16日(午後2時)東海市芸術劇場で第2回公演「アンドレア・シエニエ」(ジョルダノ/作曲)を行う。

テアトロは、ドラマチックなイタリオペラの上演を目的に創設、オーケストラと合唱団が一体化したビッグな音楽集団。第1回公演を取材した私は、パワフルかつ繊細なオケと合唱団の演奏、ステージから立ち上がる音楽への情熱と熱い連携に感動した。



宮崎 健児



上井 雅子



須藤 慎吾



相可佐代子



大田 亮子

「アンソニア・シエニエ」は、数あるイタリオペラの中でもとりわけ

名作です」と腕を振る。詩人シエニエ(宮崎智永)と伯爵令嬢マツダ

続き音楽監督・指揮を務める佐藤正浩も「演奏機会が少ないのは、技術的に難しいからでしょう。しかしぜひ光を当てたい」

コンサートマスターの高橋広は「フランス革命の光と闇、民衆と貴族。相対する情感を(ヴァイオリン)で弾き分け、それぞれのソリストに寄り添いたい。前回以上に素晴らしいステージにしたい」と胸を張った。

出演はほかに相可佐代子、大田亮子、中原憲、大久保亮ほか。公演はイタリア語(日本語字幕



加藤修滋の伴奏で歌う清水たかし

シャンソンの扉

123 清水 たかし

外務省に入省し、外交官として国際交流に貢献。2017年に定年退職し、シャンソン歌手として第2の人生を歩み始めた清水たかしが2月の「音ブラ・プロムナードコンサート」に登場した。

清水の歌好きは外交官時代から良く知られており、英国エディンバラ総領事時代には毎週1回、現地のライブハウスで自慢のものを披露した。その歌声は、フランク永井を思わせるバスバリトン。低音の魅力だ。

「シャンソンに似ているとはよく言われますが、大切なのは曲のメロディ」

「フランクさんに似ているとはよく言われますが、大切なのは曲のメロディ」

「フランクさんに似ているとはよく言われますが、大切なのは曲のメロディ」

「2005年の愛・地球博開催時には、儀典次長に任命され、9カ月間名古屋で過ごしました。期間中、海外から約120組のVIPが来場され、私がエスコートさせていたいただきました。素晴らしい経験でした」

同日は「エルム」にも出演。観客の温かな拍手に包まれ幸せなひと時を過ごした。「幾度も危険な目に遭った」外交官時代の苦労も吹き飛ばすというものだ。

東海市芸術劇場は名鉄・太田川駅直結。TEL090(5604)9656。

「ジゼル」でタイトルロールを踊る中谷友香に意気込みを聞いた。

中谷は1992年に

「2005年の愛・地球博開催時には、儀典次長に任命され、9カ月間名古屋で過ごしました。期間中、海外から約120組のVIPが来場され、私がエスコートさせていたいただきました。素晴らしい経験でした」

同日は「エルム」にも出演。観客の温かな拍手に包まれ幸せなひと時を過ごした。「幾度も危険な目に遭った」外交官時代の苦労も吹き飛ばすというものだ。

わたなべこうじマンガ劇場



舞台批評

「フィガロの結婚」

名古屋二期会／芸術才

「ちゃんちき」で二期会が変わった



メインキャストの7重唱

昨年12月のオペラ「ちゃんちき」以来名古屋二期会は変わったと私は確信している。与えられた役への取り組み、稽古の質量、明らかに「ちゃんちき」以前とは違っている。

若手を主軸

推奨公演

◆フィルハーモニー

「第12回演奏会」4月29日(午後2時)芸術劇場コンサートホール。古谷誠一の指揮、基村昌代(ソプラノ)、三輪陽子(メゾ)を迎え、マーラーの「交響曲第2番(復活)」ほかを演奏する。全自由席1000円。TEL080(4096)1842。

◆オペラの魅力「第30回記念ガラ」5月19日(午後4時)芸術劇場コンサートホール。出演は岡本茂朗、安藤勲、笛田博昭、松波千津子、相可佐代子ほか豪華メンバー



笛田 博昭

◆劇本晴都子リサイタル「やすらぎの中に」5月23日(午後2時)電気文化会館。1部は創作歌物語「お夏、清十郎」2部は「テネシーワルツ」「ケ・セラ・セラ」など世界の名曲を歌う。全自由席4500円。TEL052(731)9111。

映画 ホワイト・クロウ

伝説のダンサー

伝説のダンサー、ルドルフ・ヌレエフの若き日からパリでの亡命までを完全映画化！セルゲイ・ポルーニンも出演！

出演:オレグ・イヴンコ、タタール劇場プリンシパル/アデル・エグザルホプロス/セルゲイ・ポルーニン他 監督:レイフ・ファインズ

チケット情報など詳しくは映画公式サイトへ⇒white-crow.jp

5月10日(金) 伏見ミリオン座ほか全国公開!



全日本 シャンソン・ポピュラーコンクール2019 中部大会

2019.4.30(火) START 14:00 名古屋音楽プラザ

コンクール 出場者 募集

33年間の長きに渡り開催してまいりました「日本アマチュアシャンソンコンクール」が形を変え、更にレベルの高いコンクールを目指し、昨年から「全日本シャンソン・ポピュラーコンクール」として開催！

お問合せ ● 全日本シャンソン・ポピュラーコンクール中部大会事務局 TEL 052-733-0085 mail / mail@chanson-japonaise.com

真言宗と天台宗が宗派を越えて結成した「声明の会・千年の聲」の僧侶30人による「聲明鎮魂の祈りコンサート」が、芸術劇場コンサートホールで上演された(3月2日)。

詞に込められた意思が聴こえた



厳かに響き渡る聲明(撮影・中川幸作) 僧侶たちは舞台上で、前半身は字幕に頼っていた和歌の言葉一つ一つがはっきりと聴こえ、詞に込められた前向きな意思が確かに伝わった。(竹本)

意図は明確「名古屋の文化作り」



栗原峻希は高貴さと不安定さを併せ持つ難役・足利義昭を、華やかに演じた。老僧・天海(年老的な光秀)役は橋爪淳、スタイリッシュな佇まいと重み



物語はシンプルで、音楽は現代的、美術は鮮やか。「伝統を生かして名古屋の新しい文化を作り、磨き上げ、広めていく」意図は明確。プロデューサー、演出家、出演者らが同じ方向を見て、高いモチベーションで作りに上げたステージである。(竹本)

60年の蓄積実った壮大なドラマ



創立60周年記念演奏会(2月15日・市民会館フォレストホール)で、メンデルスゾーンのアリア「エリヤ」を上演した。旧約聖書から、預言者エリヤと民衆の信仰心をテーマに、最晩年のメンデルスゾーンが取り組んだ2時間30分余の大作。演奏

「本能寺が燃える」 戦国オペラ「本能寺が燃える」(作・あおい英斗、演出・西川右近)が一昨年以来の再演(名古屋音楽堂、2月16・17日)。明智光秀を主人公に、斎藤道三の娘で後に信長の正妻となる帰蝶との愛、苛烈な時代を生き

る武将たちの生き様を下らマチックに描いた。前回に続き光秀を吉田知明、帰蝶を加藤恵利子、信長を田中良和、道三を

滝沢博が担当。純愛、野望など、人物の個性をストレートに演じ、作品のテーマを情熱的に歌い上げた。

のある語りは、吉田・光秀との対比を際立たせながら、うまく重なって見えた。酒井敦美の「光の切り絵」は舞台や天井演者の体までも美しく彩り、能楽堂という特殊な場を使う価値を感じさせてくれた。

ることを強調し終幕に持ち込みたい」とドラマの活性化を強調した。小崎、唐谷の思い通りにドラマは軽快なテンポで展開し、和気あいあいの大団円を迎えた。また若手が生き生きとキャラクターを演じることで、

少数のベテランの存在感もアップしたのである。日本語字幕の位置もドンピシャ。細部にまで気配りの行き届いた照明美術などスタッフワークにも好感を得た。(3月2、3日・芸術創造センター)

される機会は少なく、アマチュア合唱団に取り上げたことは、大いに評価できる。170人もの合唱団と名古屋フィルハーモニー交響楽団、主役エリヤを歌ったバス末吉利行、天使ほかのソプラノ本田美香、アルト三輪陽子ら9人のソリスト。指揮の角田鋼亮は多彩な出演陣を的確な指示でまとめ上げた。

ソロ、重唱、合唱が交互に織りなす壮大なドラマは、単なる宗教音楽の域にとどまらない。メンデルスゾーン特有の華やかな音楽が大ホールに響きわたった。

出演者全員が健闘がイベントを成功に導いた。これが記念の第1回。第2回はブラームス「ドイツ・レクイエム」(11月9日)愛知県芸術劇場コンサートホールで、指揮は下野竜也。(上原)

Advertisement for Ruri Ando Soprano Recital at Hitomi Hall. Includes dates (4/27 and 4/28), ticket prices, and a photo of the performer.

15周年 アリエッタ・フレスカ
ARIETTA FRESCA
ピアノコンサート
「とりどりの花をよみ」

2019.5.11(土)
13:30開演
愛知県芸術劇場
コンサートホール

Tokyo University of the Arts Acituhua Tokyo
東京藝術大学
アカンサス楽団
第20回 新人演奏会
2019.5.12(日) 愛知県芸術劇場コンサートホール

近藤 璃佳子
Soprano Recital
ソプラノリサイタル
2019.5.28
愛知県芸術劇場コンサートホール

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

27日・電気文化会館は、若手実力者の共演だけに興味津々だった。シューベルトの「ソナチネ第2番」と「ソナチネ第3番」の間に、ヴェーベ



ヴァイオリン山根一仁 & ピアノ北村朋幹 (2月)

実力者、20代にして高い完成度

山根一仁&北村朋幹

ヴァイオリン山根一仁 & ピアノ北村朋幹 (2月) 近代の作曲家を扱った、珍しく意欲的なプログラムだった。

個性的な演奏、クッキーも楽しみ

ピアノ・山内敦子

山内敦子の8回目のピアノリサイタル(2月11日・電気文化会館)は、個性的な演奏に引き込まれた。

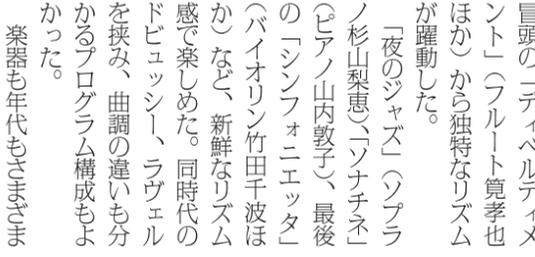


ベートーヴェンの「ピアノソナタ第8番 悲愴」に始まり、ドビュッシーの「版画」(全3曲)、ショパンの「バラード」(全4曲)と、曲調が異なり聴きごたえのあるプログラム。

「悲愴ソナタ」は正統的な演奏だったが、ドビュッシーで個性を發揮した。塔「グラナダの夕べ」の「庭」と三様の作品を、音の響きと情景を



独自のスタイルで表現した。その曲が持つ雰囲気をもっと醸し出し、聴く人をそれに引き込んでしまふ。



「夜」の「ジャズ」(ソプラノ 杉山梨恵)、「ソナチネ」(ピアノ 山内敦子)、最後の「シンフォニーエッタ」(バイオリン 竹田千波ほか)など、新鮮なリズム感で楽しめた。同時代のドビュッシー、ラヴェルを挟み、曲調の違いも分かるプログラム構成もよかった。

トするのは難しい。ただバルトークの「ラプソディー」第1番は、ハンガリーの民族的な曲で楽しめた。

最後のプログラムは晩年のソナタは、ゆったりとしたテンポで、精神的な深さまで十分に表現した。

躍動するリズム、プログラムも◎

フランス音楽研究会

名古屋フランス音楽研

終楽章の盛り上がる緊迫感、さすが実力者ならではの感心した。

どちらもまた20代だが、若さあふれるというより、相当な完成度があった。

年生誕150周年のアルベール・ルーセルを特集した。ルーセルは印象派に始まり、新古典派的な独自のスタイルを確立した。日本ではあまり演奏されず、私も初めて聴いたが、冒頭の「ディベルティメント」(フルート 寛孝也ほか)から独特なリズムが躍動した。

アンドレア・ロスト
Andrea Rost Soprano Recital
ソプラノ・リサイタル
世界5大歌劇場を制覇したプリマドンナ

「トゥランドット」の
お聞き下さい、王子様
心に秘めた大きな愛です
水のような姫君の心も

「ラ・ボエーム」の
私の名はミ
あなたの愛の聲に呼ばれて出た家に

「蝶々夫人」の
ある晴れた日に
さよなら坊や(かわいい坊や)

「トスカ」の
歌に生き、愛に生き

「チレア」
「アドリアーナ・ルクヴール」の
私は創造の神の卑しい僕
哀れな花よ

ピアノ：石野 真穂

2019.7.18(木) 13:30開演 (12:45開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール
一般 ¥5,000 シニア* (65歳以上) ¥4,500 (全席定価・税込)

マスターズ・ブラス・ナゴヤ 第4回 定期演奏会
Masters Brass Nagoya the 4th annual concert

トラッパー家のその後

サウンド・オブ・ミュージック
The Sound of Music

アルプス交響曲 作品64
Eine Alpensinfonie Op. 64

2019.4.28(日) 15:30開演 (15:00開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール
全席自由 一般 3,000円 高校生以下 2,000円

「伝説の巨匠」アシュケナージ、至宝のピアノデュオ!

ASHKENAZY
PIANO
DUO

アシュケナージ
ピアノ・デュオ
ウラディーミル & ヴァレリア・アシュケナージ

2019.5.17(金) 18:00開演 / 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール
S席 10,000円 A席 8,000円 B席 6,000円
C席 4,000円 U25 2,000円

キャンマーケティングジャパングループ Presents
ウィーン少年合唱団
WIENER SÄNGERKNABEN

日本オーストリア友好150周年
世界中で愛され続ける「天使の歌声」

2019.6.2(日) 愛知県芸術劇場コンサートホール
17:00開演 (16:30開場) S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥4,000 C ¥2,000

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(10:00~17:00 ※日祝休み)
アイ・チケット web 検索

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のこままでオペレーターが丁寧に対応いたします。ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。